

沼津市愛鷹山麓不法投棄事案：周辺環境のモニタリング結果について

静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課
県東部健康福祉センター廃棄物課

1 趣旨

旧スルガ産業による不法投棄現場の状況を確認し、県による行政代執行後の生活環境の支障判断に必要な情報を取得するため、平成25年7月から現場周辺のモニタリング（監視）を行っています。

2 モニタリングしている項目等

- ① 不法投棄現場内で発生するガスの有害性、濃度及び温度（月一回）
- ② 不法投棄現場内に設置した井戸水（月一回）及び隣接する大沢川の水質（年一回）
- ③ 不法投棄現場内に整形した斜面の状態（月一回）

3 モニタリングの結果、状況など

（1）不法投棄現場内の可燃性ガス等の発生状況等

ア 不法投棄現場内における廃棄物（木、紙等の有機物）の分解に伴う可燃性ガス（メタンガス）については、火災が発生する濃度は確認されていません（空気中のメタンガス濃度が5%に達すると火災が発生するおそれがありますが、今年度は最大でも0.45%しか発生しておらず、また、メタンガスの発生も徐々に減少傾向を示しています。）。

イ 人体に有害なガス（硫化水素、一酸化炭素）の発生は現在出ていません。

ウ 廃棄物（木、紙等の有機物）の分解に伴う高温（55～80℃）の水蒸気等が発生しています。

（2）水質の状況等

これまでの県及び沼津市の水質検査結果から、不法投棄現場内の廃棄物による大沢川や地下水の水質悪化を懸念するようなデータは出ていません。

（3）斜面の状態

月1回程度、不法投棄現場内に整形した斜面の状態を目視で確認しているところですが、現状では斜面の崩落等は確認されていません。

4 モニタリング検討委員の意見

- ・ 可燃性ガスは極めて低レベルであり、問題ない。水質結果も問題ないと評価して差し支えない。
- ・ 可燃性ガス濃度は経時的に低下し、安定化に向かっている。

島岡隆行（九州大学大学院教授）、岩堀恵祐（宮城大学元教授）、小野雄策（日本工業大学元教授）

住民の皆様へ（お願い）

現在のところ河川環境や皆様の身近な生活環境に影響を与えている兆候は見受けられません。一方、場内の地中から廃棄物の分解に伴うガスが発生がしていますので、県では当面、継続して廃棄物層内の安定状況等をモニタリング（監視）していきます。

モニタリング等の結果は、自治会を通じて皆様に報告させていただきます。

御迷惑をおかけしますが、怪我や事故に繋がる危険性がありますので、できるだけ現場内に立ち入らないよう御協力をお願いします。

＜別紙：水質検査結果の状況＞

- ・不法投棄現場内に設置しているモニタリング井戸及び隣接する大沢川から汲み取った水を検査しています。
- ・沼津市が実施する水質検査結果については、沼津市環境政策課にお問い合わせください。

1 人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質

項目	単位	基準値 (注1)	不法投棄現場内		基準値 (注2)	H30 大沢川		R1 大沢川	
			H30	R1		上流	下流	上流	下流
カドミウム	mg/L	0.03 以下	0.003 未満	0.0003 未満	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
鉛	mg/L	0.1 以下	0.01 未満	0.005 未満	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
砒素	mg/L	0.1 以下	0.01 未満	0.005 未満	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
ほう素	mg/L	50 以下	1.4	0.7	1 以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
ふっ素	mg/L	15 以下	0.5	0.22	0.8 以下	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満
アンモニア性窒素	mg/L	基準なし	19	8.7	基準なし	0.5 未満	0.5 未満	0.2 未満	0.2 未満
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	mg/L	基準なし	3.7	2.36	10 以下	0.5	0.6	0.6	1.9

2 水の汚染状態等を示す項目

項目	単位	基準値 (注1)	不法投棄現場内		H30 大沢川		R1 大沢川	
			H30	R1	上流	下流	上流	下流
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	7.4	7.0	7.4	7.5	7.5	7.4
電気伝導率	mS/m	基準なし	150	102	4.1	4.8	4.98	4.38
生物化学的酸素要求量	mg/L	60 以下	21	37	0.5	0.5 未満	0.8	1.0
化学的酸素要求量	mg/L	90 以下	19	18	2.4	2.8	2.6	0.8
浮遊物質	mg/L	60 以下	14	42	3.2	5.2	2.4	1.0 未満
亜鉛含有量	mg/L	2 以下	0.1 未満	0.1 未満	0.009	0.007	0.1 未満	0.1 未満
溶解性鉄含有量	mg/L	10 以下	0.3	0.1 未満	0.01 未満	0.01	0.1 未満	0.1 未満
溶解性マンガン含有量	mg/L	10 以下	0.3	0.1	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満
大腸菌群数	注3)	3000 以下	620	3000 未満	47	75	3000 未満	3000 未満
窒素含有量	mg/L	120 以下	28	12	0.7	0.77	0.7	1.9
燐含有量	mg/L	16 以下	0.06 未満	0.17	0.008	0.007	0.06 未満	0.06 未満

注1) 廃棄物処理法に定める最終処分場の排水基準
(処分場から河川等の公共水域へ放水する際の基準)

注2) 水質汚濁に係る環境基準

注3) 不法投棄現場内：個/cm³、大沢川：MPN/100 mL

担当 不法投棄対策班 連絡先 054-221-3810

(参考) 不法投棄現場と検査井戸の位置関係



静岡県 GIS の地図を使用しています。

◎ 令和元年度のモニタリングの様子

